

アジア

AR248

2024年9月～12月号

レポート

地域の灯台として 阿部敬子

シェフの経験を活かして——アリス・ウーさん

表紙写真(京都大原):吉田 隆

スタンレー・ジェラード師来日、精力的に巡回！

2024年5月25日から6月10日まで、マレーシアからスタンレー・ジェラード師が来日。アジア・アウトリーチ・ジャパン主事の吉田隆と共に、京都、滋賀、大阪、兵庫、奈良、徳島、岡山、広島、愛媛、香川、高知の府県にある15教会を巡回しました。

地域の灯台として

JEC 岡山チャペル 阿部敬子

ハレルヤ！ 主の御名を賛美します。私たちの教会は今年の6月4日にスタンレー・ジェラード師と通訳の吉田隆師をお迎えして宣教集会をもたせていただくことができました。スタンレー先生のお働きの為に、特にマレーシアのイバン族のために長年教会から献金させていただいており、そのミリという町でリバイバルが起こり、部族同士の和解があったことをお聞きし、みんなで大喜びしました。リバイバルを身近に感じてワクワクしました。

今年は、10月27日に「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」のみことばに導かれて「ピース・チャーチ・岡山」として教会設立する記念の年です。この



広島を訪れたスタンレー・ジェラード師

時に日本を愛して祈ってくださり、たくさんの教会設立やリバイバルに関わっておられる先生方をお迎えしてお証やメッセージをいただけたことは大きな励ましとなりました。

「祈り・立ち上がり・建設せよ」のタイトルで、今この時に何をしていくべきか、ネヘミヤ記からネヘミヤの行動を通して力強く語っていただきました。このメッセージは日本で私たちの教会にだけ語ってくださったようで、神様が特別に用意してくださっていたことを知り神様に感謝しました。

ネヘミヤがしたことは、

- ①「祈った」
- ②「計画をたて準備した」
- ③「恐れが神の働きを留めないようにした」
- ④「明確な目標を提示した」
- ⑤「行動を起こす準備をした」

ことでした。

この神様からのメッセージの中で特に印象に残ったのは、祈りについてです。ネヘミヤはまず城壁再建というビジョン達成のために、一人で祈ることから始め、祈ることを学んだということです。神様からのみことばに従順でなかった自分の罪、国の罪の赦しを求めて祈り、この一人から始まった祈りが世界を変えていったことを知りました。神の国のために何かをする前にはまず祈ること、祈りはクリスチャン人生において自動的なものではなく、車の中で、教会で、いつでも24時間絶え間なくする神様との会話であり、神様の愛を受け取っていくことができ、祈ると神様のご意思、ご計画を成し遂げるための知恵、油注ぎ、超自然的なアイデアが与えられることを知りました。

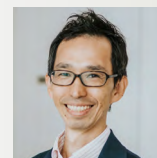
神様は、私たちの教会はこの地域の灯台、光の場所としておかれているので、決して諦めてはならない、神がそれを成すことができると語っていただきました。

また私たちに問いかけられました。この教会は準備が



AOジャパン 円安進行のただ中であって

AOJ協議会 守山キリスト福音教会 上田 勇 矢



アジア・アウトリーチ・ジャパンは、吉田主事夫妻と4人の協議委員、そして事務担当が中心として活動しています。海外のアジア・アウトリーチ協議委員はビジネスマンなども含まれますが、AO ジャパンは、全員が牧師であることが特徴です。その活動は大きく二つの向きがあります。一つ目の向きは、吉田宣教師がアジア各地を訪問し、クリスチャンリーダーを育成、働きを支援することを通してアジアの人々に仕える【日本→アジア】の方向です。もう一つは、アジアの最前線で宣教の働きをする人々を日本に招き、教会を巡回してみことばと証して日本の教会を励ます【アジア→日本】の方向です。

今、円安が進み、航空運賃、現地での費用のすべてが日本人にとっては大変な重荷となり、逆に、海外からの来日は大きく門戸が開かれている状態です。そのような情勢の変化に、私たち信仰者はどのように対応していけばよいの

でしょうか？ 以前と同じだけの支援献金でも、円安の影響で現地に届けられる額は目減りしてしまいます。では、私たちは無駄な支援をしているのでしょうか？

Ⅱコリント8章を見る時、貧しさの中にいたはずのマケドニアの諸教会こそが、与える喜びを知っていたことを発見します。

「私は証しします。彼らは自ら進んで、力に応じて、また力以上に献げ、聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。」

(Ⅱコリント8:3)

献金にしても、献身にしても、有り余る中からではなく、ない中から主にゆだねていくときに、主が豊かな霊的祝福で富ませてくださることを体験します。

AO ジャパンに関わる皆様が、この恵みの共有者であることを心から感謝いたします。

できているでしょうか？ 主に対する情熱を心に持っているでしょうか？ 自分の時間、お金、タラントを神のみこころの達成のために喜んで犠牲にできますか？ 同じ思い、ビジョンを共有し一緒になって効果的な活動をしていますか？ 一人でできないなら二人になって分かち合って一緒に成し遂げていますか？ どうぞ立ち上がってください！と語られました。教会が一つになって祈るときに、そこには力があるので、今年は聖霊様の助けによって一人一人全員が祈る年でありますように、そして祈るだけでなく起き上がって共に行動し、神様の御力を見ていく年となりますようにと力強く語っていただきました。

このみことばをぜひ覚えていただきたいと語られました。

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」(ヨハネ 15:5)

「わたしを離れては」「わたしを離れては」「わたしを離れては」と三度も繰り返されました。私たちへの熱い思いと、「わたしから絶対に離れてはいけないよ、何もできないんだよ」という神様の強い愛を受け取りました。イエス様の十字架の愛にいつもとどまり、応答していきたいと強く思いました。

「天の神ご自身が私たちが成功させてくださる。」(ネヘミヤ 2:20)



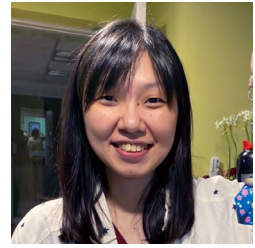
岡山チャペルにて



シェフの経験を活かして

アリス・ウーさん (その2)

(WEC/ 基督教改革宗長老會松山教會派遣)



日本にリバイバルを送ろうとしていらっしゃる神様は、その証として、日本に対して新たな宣教師派遣の波を与えてくださっています。そのお証を通して、世界の国々から支えられていることを覚え、前進して行きましょう。今回は台湾出身でニュージーランドから来てくださったアリス・ウーさんのお話の後編です。

ニュージーランドのオークランドで2年間、日本人の聖書研究会に所属していました。そこでの日本人の姉妹は、私が日本に住んでいたときに出会ったクリスチャンとは違っていました。海外で主を信じている日本人の割合が高いのですが、日本に帰国すると、社会的、家族的、文化的、個人的な要因で、次第に教会や神から離れていくことがあるのです。私たちはこのような人たちを「海外帰国クリスチャン」と呼んでいますが、悲しいことに、その多くが路頭に迷っています。そのグループの一人である私の日本人の友人の姉妹は、「自分の国に戻ってくるのは大変なことだ。イエスを信じていることに変わりはないのだが、自由にできないし、日本の伝統的な教会文化にどう馴染んだらいいのかかわからない」と言っていました。

私自身、日本に住んで2年近くになり、日本の教会に通い始めて1年半になる今、彼女の考えていることが少しずつ理解できるようになってきました。外国人である私の目から見ると、日本のクリスチャンは本当に真剣に宣教に取り組んでいると感じますし、日本のクリスチャンの信仰に対する姿勢には感心しますが。

私のミニストリーの経験の多くは、子どもや青少年へのミニストリーと聖書の教えです。また、10年以上シェフとして働いていたので、料理やもてなしの専門的なスキルを、伝道プログラムやアウトリーチミニストリーに生かしてくださっています。「日本人を家に招くのは簡単ではない」とよく言われますが、引越して3か月後には、教会の友人たちが、私の料理を食べたいということで喜んで家にきてくれました。リラックスした雰囲気の中でおいしい料理を楽しめば、会話が弾み、心が開かれます。食事を通して新しい関係が生まれます。最近、近隣の人との距離を縮めるために、教会のロビーをカフェに改装しました。日本の教会でこのようなミニストリーができる日が来るとは思っていなかったもので、本当に感謝しています。

チャレンジ! バングラデシュ教会堂建設プロジェクト

バングラデシュに会堂を建設しよう

バングラデシュの会堂プロジェクトは、送金の過程でいくつかの試練を迎えました。まずマネーロンダリングの関係で海外送金の規制が厳しくなっています。次に円安が進み、円の価値が下がってしまいました。加えて7月以降、首都ダッカでは反政府のデモ隊と警察の戦いが続き、8月5日ハシナ首相の辞任と逃亡を経て国政は混乱しました。インターネットなども一時遮断の事態に陥りました。そうした中で現在まで、約1,730,000円を現地に送金することができました。

編集後記

- いつもアジア・レポートをお読みくださり、お祈りくださり、ご献金によってお支えくださいますことを感謝いたします。
- 前回から、アジア・レポートの表紙デザインが変わりました。
- 日本の諸物価が高騰しておりますが、それはお読みいただいていますアジア・レポートにも影響を及ぼしております。印刷費と郵便料金、送料が値上がりしております。さまざまな雑誌がデジタル化しております。そこで、今まで年間4回発行しておりましたアジア・レポートの発行回数を、前

- 回から年間3回に減らせていただくことに致しました。どうぞご理解くださいますようお願い致します。尚送料費削減のため、アジア・レポートをEメール添付のPDFで配信ご希望の方は、aojapan@zeus.eonet.ne.jp までお申し込みください。
- アジア・アウトリーチ・ジャパンのウェブサイトが新しくなりました。<https://aojapan.org>

迫害されている
クリスチャンの
ために祈ろう!
hakugai.org